

人身事故証明書入手不能理由書

第三者を記入する。

被災職員を記入する。

必ず届出警察署、担当、届出年月日を記入する。

原則、第三者に記載させる。
※不可能な場合は、被災職員が記載。

当 事 者 甲	住 所	東京都〇〇区〇〇町3-4-5		
	氏 名	三田 太郎	生年月日	昭和 35 年 1 月 1 日
	自賠償保険契約先	〇〇海上火災保険株式会社		
	自賠償保険証明書番号	第0002599845号		
	登録番号	品川500せ1100	車台番号	0048-437-YR-00001
当 事 者 乙	住 所	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
	氏 名	新宿 三郎	生年月日	平成 8 年 7 月 12 日
	自賠償保険契約先			
	自賠償保険証明書番号			
登録番号	自転車	車台番号		
発生年月日	令和 5 年 8 月 2 日 午前(午後) 6 時 00分ころ			
発生場所	東京都〇〇市〇〇町2-3-4先交差点			
届出警察	〇〇 警察署 担当 〇〇	届出年月日	令和 5 年 〇月 〇日	
人身事故証明書入手不能理由 【例1】 事故当時は警察に届けなかったが、認定請求時に必要だとわかり、1ヶ月後に警察に届けたが、証明できないとして受理されなかったため 【例2】 私有地内(道路以外)での事故であり、警察では証明できないとして受理されなかったため				
上記理由により人身事故証明書は取得していませんが、人身事故の事実には相違ありません。 令和 5 年 〇月 〇日 住 所 東京都〇〇区〇〇町3-4-5 運転手 氏 名 三田 太郎 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (自署又は押印)				

地方公務員災害補償基金
東京都支部長殿

[注意事項]
この理由書は、人身事故の交通事故証明が得られなかった際に作成してください。
自転車による事故も交通事故となります。

第三者の念書が入手できない場合の措置について

第三者が念書の提出を拒んだり、第三者を特定することができない等の理由により、第三者の念書が入手できない場合は、次の内容を調査し、報告してください。

1 第三者が念書の提出を拒んでいる場合

念書の提出を拒んでいる具体的な理由と第三者との交渉の経過を報告してください。

－理由の例－

- ・ 第三者は、自分の過失を全く認めていない。
- ・ 被災職員の方が過失が大きいと主張している。
- ・ 損害額が明らかになっていないのに念書など出せないと主張している。
- ・ 第三者は、賠償に応じる資力が無いと言っている。
- ・ 面会しようとしても全く応じず、第三者に誠意が見られない。

2 第三者を特定することができない場合

事故直後、第三者が住所、氏名を告げずに立ち去った場合など、第三者を特定できないときは、次の内容を明らかにしておいてください。

(1) 第三者本人の人相や服装

- ・ 性別、年齢、身長、体格、頭髪、服装、持ち物等

例えば、「30歳位、身長170㎝位の小太り、七三分けのグレーのスーツを着た一見会社員風の男」等記憶している事項を明らかにしてください。

(2) 第三者の運転していた車両

- ・ 車両ナンバー
- ・ ナンバーが不明な場合は、車種、社名、車の色、形、乗車人員、その他の特徴

例えば、「材木を積んだ白色のトヨタ普通貨物2トン車で荷台に〇〇材木店と書いてあった」等と記入してください。

(記載例)

念書入手不能理由書	
令和〇年〇月〇日	
1 被災職員氏名	新宿 三郎
2 災害発生日時	令和5年8月2日午後6時00分頃
3 第三者氏名、住所等	三田 太郎 東京都〇〇区〇〇町3-4-5
4 入手不能理由	第三者は、～と主張し、～ ～であるとして念書の提出を拒否している。
東京都〇〇局〇〇部〇〇課〇〇係 新宿 三郎	
(自署又は押印)	